



DMW CORPORATION

株式会社電業社機械製作所

証券コード 6365

第90期

2024年4月1日

2024年9月30日

中間報告書

90th Interim Business Report

Powering Passion

その情熱を力に。



“Powering Passion” 『その情熱を力に。』



ご挨拶

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第90期中間連結会計期間の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社は2023年度からスタートした「中期経営計画2025 “Powering Passion”」の2年目の折り返し地点を迎えています。持続可能な社会の実現に貢献すべく「水と空気を通じて豊かな未来社会を創造する」というパーパスの実現に向けて、全社員一丸となって本中期経営計画の目標達成に取り組んでまいります。

引き続き内部統制やガバナンス体制を強化していくとともに、風通しの良い企業風土への変革に取り組みながら、信頼される企業を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 彦坂典男

当中間連結会計期間における受注はどのような状況でしたか。

当中間連結会計期間における世界経済は、欧米において金融引締め政策が緩和へと転換したものの、中国における景気の停滞、ウクライナ・中東情勢の緊迫化などにより、先行き不透明な状況が続きました。わが国経済は、個人消費や企業の設備投資に持ち直しの動きがみられ、公共投資が堅調に推移していることなどから、景気は緩やかな回復が続きました。一方で、為替や株価が急激に変動するなど、金融市場は不安定な状況にあり、その影響が懸念されます。

このような中で、当社グループの当中間連結会計期間における受注額は、前年同期に大型案件受注があった海外部門が減少したことが影響して、前年同期比79.9%の135億67百万円となりました。

業績はいかがでしたか。

売上高については、前年同期比104.1%の89億81百万円となりました。また、利益については、販売費及び一般管理費の増加などから、営業損失は2億87百万円（前年同期営業利益39百万円）、経常損失は1億90百万円（前年同期経常利益1億50百万円）、親会社株主に帰属する中間純損失は1億29百万円（前年同期親会社株主に帰属する中間純利益1億26百万円）となりました。

当社グループの売上高は、公共事業物件の割合が高いため連結会計年度末に集中する傾向があり、四半期別の業績には季節的変動があります。

通期の業績については、売上高280億円、営業利益27億円、経常利益28億50百万円、親会社株主に帰属

する当期純利益20億円を見込んでいます。

また当社グループは、従来から安定的な経営成績の確保と経営基盤の維持増強に努めています。株主の皆様へ安定的な配当をすることを基本に、当社グループで持つ経営資源を効果的に活用することとしております。これにより、一層収益力の向上と経営基盤の安定・強化並びに配当性向の向上に努めております。この方針を踏まえ、今年度の中間配当につきましては、1株につき60円とさせていただきます。

今後の取り組みについてはどのようなものをお考えですか。

この度の不適切な会計処理等における再発防止策を推進するために「内部統制改革プロジェクト」を立ち上げ、ガバナンス、内部統制、コンプライアンスの強化と風通しの良い企業風土への改革に取り組み、効果的な再発防止策を押し進めています。

中期経営計画の目標達成に向けた具体的な営業活動として、コア事業である官需部門は、安定収益体制化

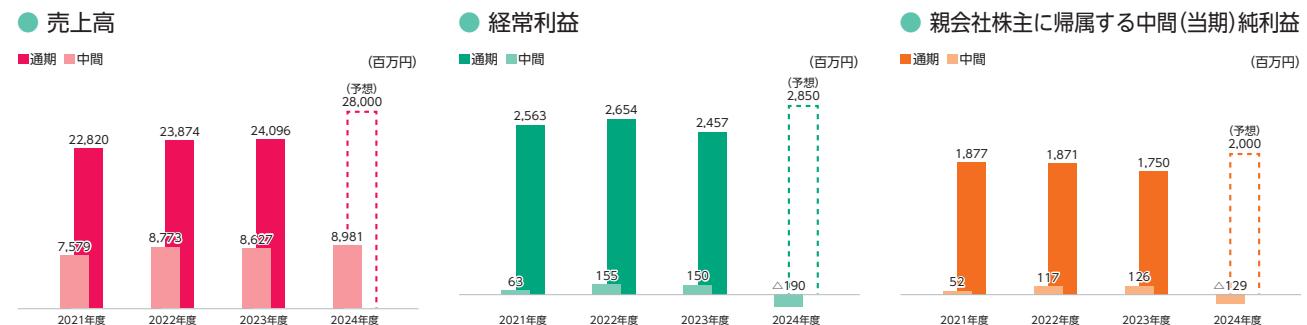
に向けて、競争優位製品である「減速機搭載型立軸ポンプ」(Lambda-21) や、「アルミ合金インペラ採用多段ターボブロワ」(AM-Turbo) の拡販及びP&Mビジネス（パーツ供給&メンテナンス）の拡大を図ってまいります。国内民需部門は、脱炭素や持続可能な社会の実現に役立つ環境配慮型製品の提案やお客様の課題解決のためのソリューション営業を積極的に展開してまいります。さらに、エネルギー回収装置の販路拡大を目指し、幅広い分野で競争優位性をPRしてまいります。海外部門は、生産能力を強化したDMWインド社を中心として、コスト競争力のある製品の提供とグローバルネットワークの強化を進め、グローバル事業領域の拡大を目指します。

上記の取り組みを通じて株主をはじめとする全てのステークホルダーの皆様に対して誠心誠意向き合い、サステナブルでグローバルな企業となるための事業基盤の再構築に取り組んでまいります。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月

連結財務ハイライト



大阪市建設局向け 此花下水処理場ポンプ設備工事の完了

当社は2024年8月30日に、大阪市建設局向け此花下水処理場ポンプ設備工事を完了しました。当ポンプ設備は、1986年(昭和61年)から事業化された「正蓮寺川総合整備事業(河川管理施設、下水道施設、公園施設及び高速道路等の総合的整備事業)」に基づき計画されました。本工事は、3年5ヶ月に亘って立軸ポンプ計7台(雨水ポンプ:口径1,800mm/出力3,450kW/3台、汚水ポンプ:口径800mm/出力500kW/2台、汚水ポンプ:口径600mm/出力185kW/2台)を製作及び現地据付しました。

これまで正蓮寺川に排水していた古い2箇所のポンプ場を廃止統合し、浸水対策としての役割を大きくした「新たなポンプ場」が誕生しました。この機場は1秒間で最大52トンの排水能力を有しており、豪雨や台風による浸水被害を防止し、重要都市インフラ機能の安全を確保することが期待されております。



今回納入した雨水ポンプ(口径1,800mm)



今回納入した汚水ポンプ(口径600mm及び800mm)

「下水道展」への出展

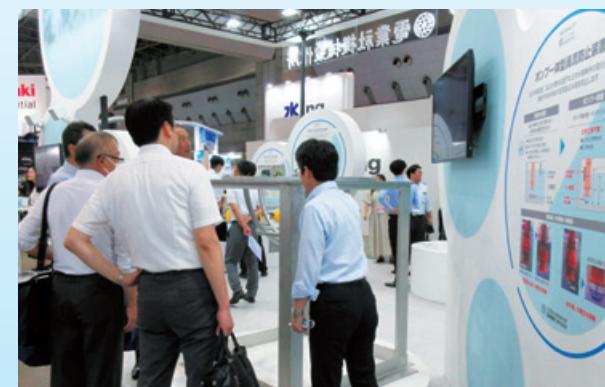
当社は2024年7月30日から4日間、東京ビッグサイトにて開催された「下水道展'24東京」に、出展いたしました。同展示会は、公益社団法人日本下水道協会が主催するもので、今回で35回目となります。351の会社・団体が出展し、延べ約49,000人が来場されました。

我が国の下水道事業は、施設の老朽化に伴う改築への対応、頻発する豪雨に備えるための浸水対策、人口減少に伴う下水道使用料収入の減少、人員の不足による管理体制の脆弱化等、多くの問題を抱えています。その問題の解決に繋がる最新技術・機器等の情報を効率的に収集できる場として、同展示会は活用されています。

当社はグループ会社である株式会社エコアドバンスとともに出展し、

- ① 下水処理のばっ気用多段ターボブロワ「AM-Turbo」
- ② 土木構造物を改造することなく槽内渦対策を可能とする「立軸ポンプ一体型渦流防止装置」
- ③ 3次元スキャナを活用した「施工円滑化DX技術(AR)」
- ④ 吸水槽等にたまった土砂の堆積量を超音波で計測する「SST水中地形計測装置」
- ⑤ 角落しの受枠である角溝を安全に清掃する「角溝清掃ロボット」
- ⑥ ポンプ技術を応用したポンプ逆転水車による「小水力発電システム」
- ⑦ カーボンニュートラルの実現に向けた三島事業所での省エネ、転エネ、創エネ等の取り組み等を紹介いたしました。

当社ブースにも大変多くの方々にご来場いただきました。これを励みに、豊かな未来社会を創造していけるよう今後とも邁進してまいります。



展示ブースの様子

「ホームページリニューアル」

2024年10月に当社ホームページを全面リニューアルいたしました。トップ画面は、当社のパーパス「水と空気を通じて豊かな未来社会を創造する」を表現したデザインを採用しています。

機能面では、株主様をはじめとしたステークホルダーの皆様を、必要とされる情報までスムーズに導くため、最新のトレンドを反映したデザインを採用しました。情報面では、IR情報を期ごとにまとめ、株主様や投資家の皆様が必要な情報を見つけやすくなるよう整理しました。また、サステナビリティコンテンツの情報拡充や電業社の魅力を1ページで伝えるコンテンツを設けました。今年度制作したパーパスムービーもホームページ上で公開しています。

今後も、株主様をはじめとしたステークホルダーの皆様に、当社の情報を迅速かつ分かりやすく提供できるよう努めてまいりますので、引き続きご活用くださいますようお願いいたします。



ホームページ

電業社機械製作所



でご検索ください！

<https://www.dmw.co.jp/>



パーパスムービー

電業社機械製作所 > 企業情報 > 動画ライブラリー

よりご覧ください！

<https://www.dmw.co.jp/video/index.html>



一人ひとりが思い描く未来は 様々な姿をしています

企業風土改革への取り組み

当社は、従業員一人一人が心身ともに健康で社会的にも満たされた「ウェルビーイング」の状態でも働き続けることが企業の持続的な発展に繋がると考え、企業風土改革に取り組んでおります。

「職場環境創造・女性活躍プロジェクト*」では、組織の中で自分の考えや思いを誰に対しても安心して発言できる「心理的安全性」を高め、笑顔で働き続けられる職場づくりを目指して様々な施策に取り組んでおります。

2024年9月より毎月8・18・28日を「スマイル Day」に設定し、笑顔での挨拶の励行に取り組んでおります。コミュニケーションの第一歩である“挨拶”に“笑顔”をプラスすることで、一体感や安心感が生まれ、良好な人間関係の構築を促進する効果が期待できます。この取り組みは経営層・管理職が率先して笑顔での挨拶巡回を行っており、組織が一体となって良い習慣を継続することで、企業の持続的な発展に取り組んでまいります。

* 職場環境創造・女性活躍プロジェクト：2022年4月に発足し、女性ならではの視点から職場環境の改善等に取り組むプロジェクト



地域社会貢献への取り組み

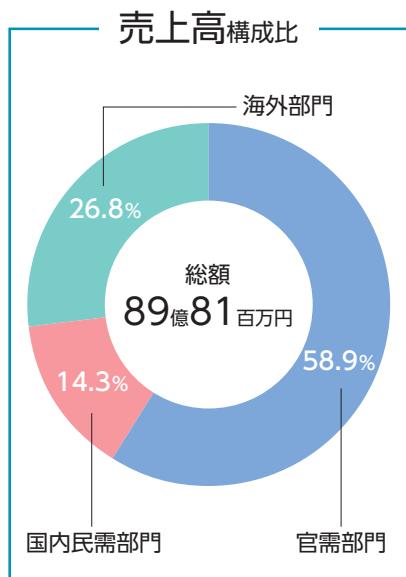
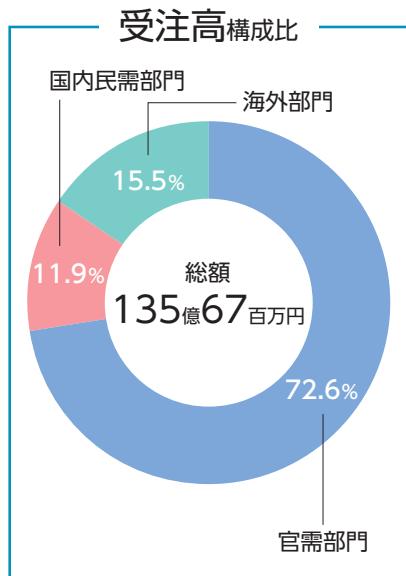
当社三島事業所では、2024年8月2日に地域社会の皆様との交流の場として「第36回電業社夏まつり」を開催しました。今回は再生可能エネルギー由来の電気を使用し、環境にも配慮して運営しました。

当日は、焼きそばやたこ焼きなどのキッチンカーの出店、子供たちへのジュースや花火の無料配布などを行いました。また、催しとして近隣3町内の子供会による「しゃぎり(お囃子)」の競演で会場が盛り上がったほか、小学生向けのイベント、大抽選会などを行いました。当社がサポーター契約を締結しているプロサッカーチーム「アスルクラロ沼津」の菅井選手、川又選手によるトークショー、お笑い芸人の「相席スタート」「ですよ。」によるお笑いライブもあり、地域の皆様と充実した時間を過ごすことができました。

当社は今後も積極的に地域交流を行い、地域社会と共に発展に努めてまいります。



会場の様子



官需部門

受注高 **98億51百万円**
(前年同期比93.5%)

売上高 **52億90百万円**
(前年同期比93.8%)



●雨水排水用ポンプ

国内民需部門

受注高 **16億17百万円**
(前年同期比90.7%)

売上高 **12億79百万円**
(前年同期比78.4%)

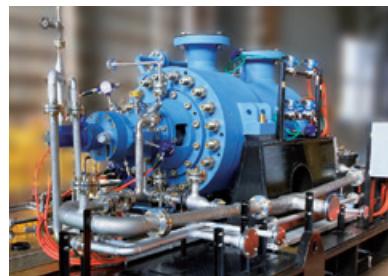


●発電所向け送風機

海外部門

受注高 **20億98百万円**
(前年同期比45.0%)

売上高 **24億11百万円**
(前年同期比178.1%)



●石油精製プラント向けポンプ

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期末 2024年9月30日現在	前期末 2024年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	23,407	28,405
固定資産	8,512	8,578
有形固定資産	4,434	4,436
無形固定資産	343	346
投資その他の資産	3,734	3,795
資産合計	31,919	36,984
(負債の部)		
流動負債	6,096	10,474
固定負債	257	357
負債合計	6,353	10,832
(純資産の部)		
株主資本	24,127	24,566
資本金	810	810
資本剰余金	127	123
利益剰余金	24,199	24,646
自己株式	△1,009	△1,013
その他の包括利益累計額	1,438	1,585
純資産合計	25,566	26,151
負債純資産合計	31,919	36,984

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

電業社機械製作所 検索 詳細な情報につきましてはホームページをご覧ください。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 2024年4月1日から 2024年9月30日まで	前中間期 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
売上高	8,981	8,627
売上原価	7,219	6,887
売上総利益	1,762	1,740
販売費及び一般管理費	2,049	1,700
営業利益又は営業損失(△)	△287	39
営業外収益	123	136
営業外費用	25	25
経常利益又は経常損失(△)	△190	150
特別利益	-	77
特別損失	-	18
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△190	209
法人税等	△60	82
中間純利益又は中間純損失(△)	△129	126
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△129	126

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

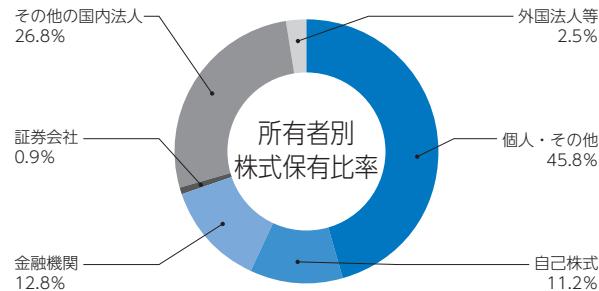
科目	当中間期 2024年4月1日から 2024年9月30日まで	前中間期 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,649	3,730
投資活動によるキャッシュ・フロー	△199	140
財務活動によるキャッシュ・フロー	△329	△316
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	14
現金及び現金同等物の増減額	4,126	3,568
現金及び現金同等物の期首残高	6,071	6,036
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,197	9,604

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

株式の状況

発行可能株式総数	19,107,600株
発行済株式の総数	4,776,900株
株主数	3,370名

株主構成

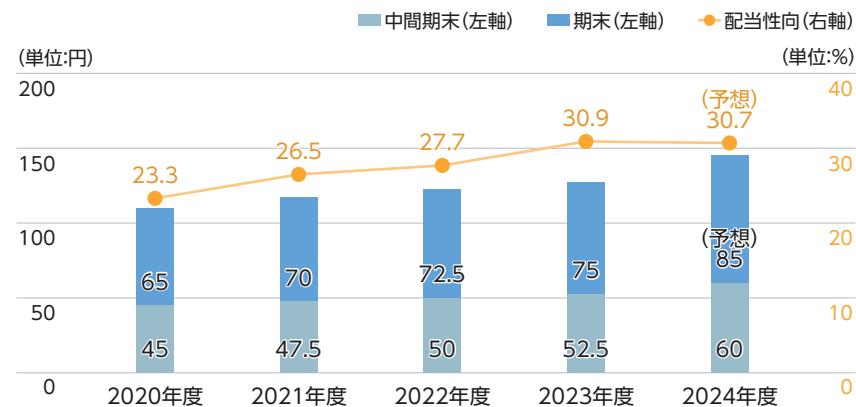


大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社GM INVESTMENTS	506	11.96
電業社取引先持株会	250	5.91
明治安田生命保険相互会社	175	4.15
光通信株式会社	148	3.49
株式会社明電舎	127	3.01
一般財団法人生産技術研究奨励会	120	2.83
株式会社三菱UFJ銀行	104	2.46
三井住友海上火災保険株式会社	96	2.29
水道機工株式会社	70	1.67
株式会社鶴見製作所	65	1.54

(注) 1. 当社は、自己株式 (536千株) を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。

1株当たり配当金/配当性向



(注) 2020年度中間期末配当金の内訳 普通配当42円50銭、記念配当2円50銭

会社概要

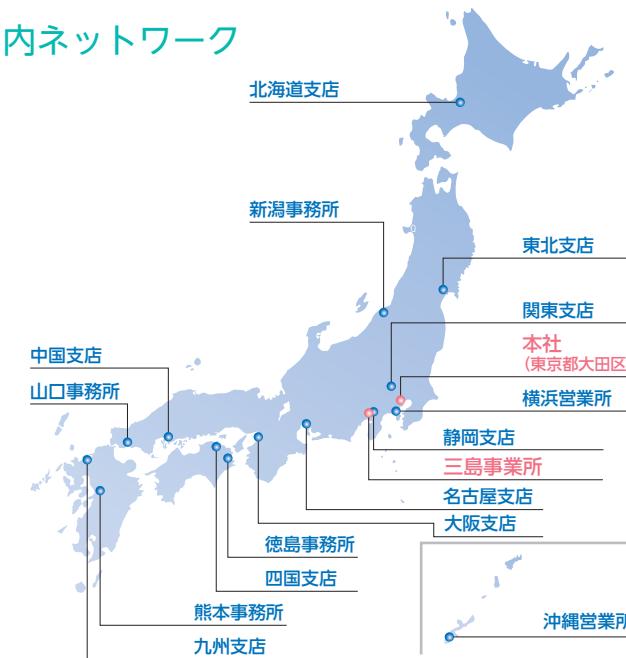
商号	株式会社 電業社機械製作所 (DMW CORPORATION)
所在地	東京都大田区大森北一丁目5番1号 〒143-8558 TEL 03(3298)5115
資本金	810,000千円
グループ従業員数	680名 (うち契約社員79名、パートタイマー45名)

取締役及び執行役員

代表取締役社長	彦坂典男
最高執行役員社長	
取締役 役員	稲垣晃
取締役 役員	青山匡志
取締役 役員	原広志
社外取締役	杉井守
社外取締役	阿部泰光
取締役 (常勤監査等委員)	前田治郎
社外取締役 (監査等委員)	多田修
社外取締役 (監査等委員)	山本英男
執行役員	石澤勇人
執行役員	長尾裕治
執行役員	茶原邦之
執行役員	笹川博
執行役員	柚木孝洋
執行役員	坂根寧

ネットワーク

国内ネットワーク



国内子会社

- 電業社工事株式会社 (本社：静岡県三島市)
- 株式会社エコアドバンス (本社：静岡県三島市)

海外ネットワーク

海外拠点

- 中東支店 (アラブ首長国連邦 ドバイ首長国)
- シンガポール支店
- 大連事務所 (中国)
- 米国拠点 (ヒューストン)

海外子会社

- DMWインド社 (本社：ムンバイ/工場：プネ)

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日
- 中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
- 上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場
- 公告の方法 電子公告により当社WEBサイトに掲載
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(各種手続き先)

1. 株式に関する各種手続き(住所・氏名の変更、配当金振込口座の指定・変更、単元未満株式の買取請求等)につきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできません。
2. 株券電子化に伴う証券会社等の口座への振替手続きがお済みでない株式(特別口座に記録された株式)に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 銀行取扱い期間終了後の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

 株式会社 **電業社機械製作所**

〒143-8558 東京都大田区大森北一丁目5番1号
TEL(03)3298-5115(代表)

ホームページのご案内

最新のIR情報につきましては、当社のホームページ「IR情報」をご参照ください。

当社ホームページ <https://www.dmw.co.jp/>



▲TOPページ



森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物インキを使用しています。